資料１

令和６年度第２回　島田市中小企業･小規模企業振興会議

●本年度テーマ設定についての意見照会結果

No	選択テーマ	理由等
1	人材確保と育成	どの業界においても人材不足は深刻化している。 ・少子高齢化、働き方の多様化等により人材確保が困難になっている。 ・人手不足による労働生産性の低下、経営の悪化という懸念が生じる。 ・若手社員の早期退職を防ぐこと、定着率を上げることも課題である。 [状況] ・若者（学生）の中には、単身赴任がないことや休日が保障されることなど、昇進よりも安定した生活を望む声も多い。 ・子どもの数が減少しているとはいえ、若者の勤労意欲が著しく低下しているわけではない。 [対応] ・中小企業及び小規模企業が優秀な人材を確保、定着させるためのノウハウを学んだり共有したりすることが必要であり、有効であると考える。
2	商店街における空き店舗対策と商店街再生	・商店街の店舗減少の対策として今まで行われてきた空き店舗対策の結果が全く分からないので、ここ10年の対策結果の報告をいただきたい。その結果報告の分析ができれば新たなる対策も生まれてくるかと思う。 ・商店街が開催している様々なイベントの見直しへの協力をお願いしたい。 ・会場が広くなれば警備にお金がかかりスタッフも足りなくなるなどの問題がある。 ・経費を抑え有効活用できるイベント開催の方法を考えていただきたい。

3	地域の活性化（健康をキーワードに産業発展）	健康をテーマにすると… ①島田市内に現在存在する市民スポーツ施設の活用で市民スポーツ大会の開催が可能であり、県内外からスポーツ選手、関係者が島田市に来る。 ②豊富な水が有ることで、医療関係の企業立地が可能であり、健康をテーマに掲げる島田市に誘致できる。 ③予防医学を推進して、健康診断、検診ドッグ施設を開設する。 ④来院しなくても診察できるようにDXを駆使して遠隔治療のシステムを構築する。 [効果] (1) 人材確保と育成 ・健康寿命が延びることで高齢者の就労も可能となる ・企業の立地より若年層の就労が可能になる (2) 産業・商業 ・健康食品・機具・医薬品の新産業の構築 ・国内、海外から健康関連の集客 ・スポーツ関係者の宿泊、飲食増加 (3) 人口増加 ・健康・就労・老後の不安のないまちにすることで人口増加が見込める。
4	人材確保・育成	急速な少子高齢化の進展による人口の減少、企業間の競争激化等により、企業は、事業所数の減少や売上の低迷、後継者不足などの厳しい状況に置かれている。 地域の活性化、持続的な発展を目指すために、若者を含めた人材の確保・育成が求められると思うため。
5	『健康』からの人材確保	本年度事業の「高校生親子による島田魅力ある会社見学バスツアー」や、「高校生アンケート調査」を踏まえて、どのような会社が若者にとって魅力的なのかをしっかり理解し、そのような企業が島田市に増えるような取り組みを考える。 一方で、少子高齢化は加速し、労働力不足が深刻化することは避けられない現実である。 その中で重要となってくるのが、高齢者の労働力である。 健康で元気な高齢者の多いまちになれば、労働力不足の解決につながるかもしれないと考えた。 従業員や経営者の健康は、企業や地域住民の質を向上させる重要な要素でもある。

6	人材確保と最低賃金の引き上げ	最低賃金が引き上げられ、中小企業・小規模事業者はますます人材確保が困難になってくると思う。 効率化を図るためにＤＸ化を推進することも方策であるが、マンパワーがなければという企業もたくさんあるのではないか。そのような企業にどういった支援ができるかを検討したい。
7	①昨年決定した内容の実施 ②物価高への補助事業 ③病児保育の充実	・①については確実に進めていただきたい。 ・②についての補助事業であるが勤労者の生活は厳しい状況が続いていることから継続した取り組みを検討いただきたい。今年、社会全体の動きの中で賃上げがされた企業は増えたものの円安・物価高により実質賃金が低下。物の値上げを日々生活の中で感じることが多くなっています。中小企業・小規模企業支援施策とは異なるかもしれませんがLINEクーポン事業の復活・継続を検討いただき島田市の中でグッドマネーの循環をしていただきたい。 ・③勤労者向けの福祉事業として、「病児保育の充実」を検討いただきたい。夫婦共働き世帯が増える中、お子さんが体調を崩してしまうと仕事を休まないといけない状況となる。安心して働き・子育てができる環境の整備として病児保育の充実（開所時間を早める）を検討いただきたい。
8	人手不足の対応について	前回の会議の中で「人手不足」が深刻であるとの意見が多く、若い世代の人材採用に苦慮していると感じた。 多様性や働き方改革などを考慮した人材確保など、様々な検討の余地があると感じたため。